

テノールの世界

～ 輝ける歌声～



©Segi Shinichi

樋口 達哉



笛田 博昭

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

2019年7月30日 火

18:30開場 19:00開演

会場：サントリーホール



©Fabio Parenzan

指揮：園田 隆一郎

©K.Miura

ピアノ：河原忠之

入場料：S席 10,000円／A席 8,000円／B席 6,000円／C席 4,000円

チケットぴあ：0570-02-9999(Pコード：149-874) 自動音声対応

URL：<http://pia.jp/t/>

サントリーホールチケットセンター：0570-55-0017(10:00～18:00 ※休館日を除く)

特別協賛：株式会社木下グループ、株式会社竹中工務店

協賛：トヨタ自動車株式会社、伊藤忠商事株式会社、伊藤病院、コスモス・ベリーズ株式会社、セイコーホールディングス株式会社

主催・お問合わせ：株式会社メイ・コーポレーション 03-3584-1951 (平日10:00～18:00)

※曲目等は変更になる場合がございます。予めご了承ください。未就学児はご入場いただけません。



ご案内：三枝成彰



ジョン・健・ヌッツォ John Ken Nuzzo

2000年にウィーン国立歌劇場にデビューし、オーストリア芸術新人大賞受賞。フォルクスオーバー、ザルツブルグ音楽祭に出演後、2003年よりメトロポリタン歌劇場に出演。NHK大河ドラマ「新選組！」テーマ曲を歌唱し、クラシックファン以外にも抜群の知名度を誇る。類まれな声とテクニク、幅広いレパートリーで聴衆を魅了している。天皇皇后両陛下とローマ法皇に歌声を披露した経験をもつほか、MLB、NFLやサッカーの国際試合で国歌斉唱もつとめた。これまでグルベローヴァ、ゲオルギュー、ブルゾン、ヌッチ等世界の名歌手や、N響、東響、札響、京響、名フィル、ミュンヘンフィル等国内外のオーケストラへ客演。近年はドミンゴと歌劇「真珠とりの」二重唱や世界的ホルン奏者のパボラークとプリテンの珠玉の名作を共演し称賛を得ている。2019年は、日壊友好150周年記念イヤーに伴うリサイタルツアー、ウィーン・コンツェルトハウスでウィーン室内楽管弦楽団との共演や歌曲「美しき水車小屋の娘」を予定している。第13回出光音楽賞受賞。東京音楽大学客員教授。
<http://www.jkn-tenorissimo.com/>

樋口 達哉 Tatsuya Higuchi



©Segi Shinichi

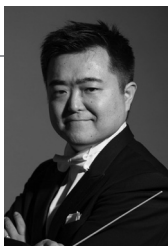
福島県出身。武蔵野音楽大学、同大学院修了後ミラノに留学。国際コンクールでの受賞歴多数。1998年ハンガリー国立歌劇場「ラ・ボエーム」でデビュー後、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場管弦楽団等と共演。2014年イタリアとサン・マリノ、2018年・2019年パリ・ユネスコ大使公邸でリサイタルを開催。国内に於いても新国立劇場、二期会を中心に活躍の場を広げる。二期会ではデビュー以来立て続けに主演し各界から絶賛される。最近のオペラ出演も目覚ましく、2017年「トスカ」「ラ・ボエーム」「ルサルカ」、2018年「ノルマ」「トスカ」「外套」「スペインの時」「夕鶴」、2019年「金閣寺」で大絶賛を浴びる。その他「題名のない音楽会」「NHKニューイヤー・オペラコンサート」等で幅広く活躍。イタリアの太陽を想わせる輝きのある声と華を持つ日本を代表するテノールとして多くのファンを魅了している。CD「君のために」「パッシオーネ」「あこがれ」をリリース。二期会会員。武蔵野音楽大学、東京藝術大学講師。出身地・二本松市の観光大使。本年10月二期会「蝶々夫人」に出演予定。
オフィシャルサイト <http://www.higuchi-tatsuya.com/>



笛田 博昭 Hiroaki Fueda

名古屋芸術大学音楽学部声楽科首席卒業。同大学院修了。中島基晴氏、Lina Vasta女史に師事。名古屋芸術大学特別公演「トゥーランドット」カルフ役でオペラデビュー。その後イタリアへ渡り、留学中にコンクールで優勝。フェッラーラ歌劇場で「イル・トロヴァトーレ」マンリーコ役で出演し、イタリアデビューを果たす。他、イタリアをはじめ国外において多数のオペラやコンサートに出演しながら、研鑽を積む。帰国後、藤原歌劇団公演をはじめとし、プリモ・テノールとして数多くの公演に参加し、常に好評を博している。国内外問わずソリストとしても活躍し、イタリア・ヴァチカン国際音楽祭に参加し枢機卿の音楽ミサで演奏、各種コンサート、NHKニューイヤーオペラコンサートに出演。2019年の出演も決定している。類まれなる「声」と生まれ持った体格を生かし各地で活動中である。第20回五島記念文化賞オペラ新人賞、文化庁新進芸術家海外留学制度研究員、第50回日伊声楽コンクール第一位、及び五十嵐喜芳賞・岡部多喜子賞受賞等、受賞多数。藤原歌劇団団員。新潟県湯沢町特別観光大使。

指揮：園田 隆一郎 Ryuichiro Sonoda



©Fabio Parenzan

2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間「トスカ」を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団「ラ・ボエーム」を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロのロッシェニ・オペラ・フェスティバル「ランスへの旅」の他、フィレンツェのトスカーナ管弦楽団との演奏会、カタニアのベッリーニ大劇場管弦楽団の演奏会を指揮した。その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ね、オペラと交響曲の両分野で活躍する指揮者の一人である。東京芸術大学音楽学部指揮科、同大学院を修了。遠藤雅古、佐藤功太郎、ロックハート、ジェルメッティ、ゼッダ各氏に師事。2017年度第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。藤沢市民オペラ芸術監督。

ピアノ：河原 忠之 Tadayuki Kawahara



©K.Miura

日本を代表する歌手やソリストがその共演者に挙げて指名する人気ピアニスト。その幅広い音色、繊細な音楽表現には定評がある。国内外の第一線で活躍中の「太メン」男声オペラ歌手4人とのユニット、IL DEVU (イル・デーヴ) のピアノ・メンバー。サイトウキネンフェスティバル等でコレペティトールを務める一方、指揮者・プロデューサーとしても、「ラ・ボエーム」「愛の妙薬」「シモン・ボッカネグラ」「リゴレット」「コジ・ファン・トゥッテ」「魔笛」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「オリンピアード」など、数々の公演で心に残る上演を牽引してきた。国立音楽大学卒業、同大学院修了。国立音大学及び大学院准教授、新国立劇場オペラ研修所音楽主任講師。

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra

1911年創立。2011年に日本のオーケストラとして最初の100周年を迎えた、日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約130名。シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にジョン・ミョンファン、首席指揮者にアンドレア・パッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティコンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「平日/休日の午後のコンサート」を中心とする自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、「NHK名曲アルバム」「NHKニューイヤーオペラコンサート」テレビ朝日系「題名のない音楽会」、テレビ東京系「東急ジルベスターコンサート」などの放送演奏により全国の音楽ファンに親しまれる存在として、高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い注目を集めている。1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。公式ウェブサイト <http://www.tpo.or.jp/>

プログラム

- ・ワーグナー : 『ローエングリン』 第3幕への前奏曲
- ・ジョルダノー : 『アンドレア・シェニエ』より「ある日、青空を眺めて」
- ・プッチーニ : 『トスカ』より「妙なる調和」
- ・ワーグナー : 『ニュルンベルクのマイスタージンガー』より「朝はばら色に輝き」
- ・ドニゼッティ : 『ラ・ファヴォリータ』より「優しい魂よ」
- ・レオンカヴァッロ : 『道化師』より「衣裳をつける」
- ・デュバルク : 旅への誘い <Pf>
- ・ショパン : 別れの歌 <Pf>
- ・レオンカヴァッロ : 朝の歌 <Pf>
- ・シューベルト : 君こそわが戀い <Pf>
- ・三枝成彰編曲 : 早春賦 <Pf>
- ・三枝成彰編曲 : 待ちぼうけ <Pf>
- ・三枝成彰編曲 : からのたちの花 <Pf>
- ・プッチーニ : 『ラ・ボエーム』より「冷たき手を」
- ・ジョルダノー : 『アンドレア・シェニエ』より「5月の晴れた日のように」
- ・ピゼー : 『カルメン』より「花の歌」
- ・モリコーネ : もし(「ニューシネマ・パラダイス」テーマ) <Pf>
- ・ニノ・ロータ : ゴッドファーザー 愛のテーマ <Pf>
- ・ヴェルディ : 『イル・トロヴァトーレ』より「ああ、愛しい人よ～見よあの恐ろしい炎を」
- ・プッチーニ : 『トスカ』より「星は光りぬ」
- ・プッチーニ : 『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」、他

※曲目、曲順は変更になる場合がございます。予めご了承ください。